

平成29年度 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価一覧

No.	区分 担当	事業番号	事業名	事業の目的	前年度 決算額	当該年度 決算額	比較	点検評価のコメント	今後の 方向性	その他特記事項
1	本庁 生涯学習課 学校教育グル ープ	1790-00	教育委員会活 動運営事務	教育行政の円滑な 運営と教育委員として の研鑽を図る	1,697	1,906	209	地方教育行政の組織及び運営に関する法律第23条に定める職務について、同法第26条及びむかわ町教育委員会の職務権限に属する事務の一部を教育長に委任する規則の規定に基づき、定例会を12回、臨時会を1回開催し、議案等101件を審議した。また、町立学校6校を訪問し、各学校の特色ある教育活動の取り組みや課題等について意見交換を実施した。 今後、よりよい教育環境の提供や、今日的な教育課題の解決に向けて、教育委員として更に研修を深めていく必要がある。	B維持	
2	本庁 生涯学習課 学校教育グル ープ	1810-00	就学指導事務	心身に障害があり、 教育上特別な取扱い を要する児童生徒に 対し、適正な就学指 導を行うための教育 支援委員会の設置及 び活動	17	31	14	特別支援教育の充実及び本町の児童生徒の適正な就学に向けて、引き続き細かな取り組みを続けていく必要がある。	B維持	H27年度に就学指導委員会から教育支援委員会に移行
3	本庁 生涯学習課 学校教育グル ープ 総合支所 教育振興室	1830-00	教職員福利厚 生事務	職員の健康保持の ため学校保健の充実 を図る	852	902	50	学校保健安全法第15条の定めにより教職員の定期健康診断、血液検査、人間ドックを実施。 教育課程以外の活動（PTA活動、学級活動、部活など課外活動）における事故等の補償をし、教職員の負担軽減に努めている。	B維持	
4	本庁 生涯学習課 学校教育学 校教育グル ープ 総合支所 教育振興室	1840-00	高等学校振興 対策事業	鶴川高等学校並び に穂別高等学校の存 続対策及び体育・文 化活動の振興	21,372	21,304	△ 68	鶴川高校部活動等の支援や通学バスの運行、穂別高校の学校案内（札幌及びその近郊の中学校への訪問）などの存続事業は、高校存続問題にも有効なものとなっている。 今後も両高等学校の生徒の確保、存続を図るため必要な事業であるが、地域から支持される施策にステップアップしていく必要がある。 平成28年度から鶴川高校振興対策交付金事業としてキャリア教育振興奨励事業及び広報活動支援を新規に盛り込み、間口対策を強化している。	B維持	
5	本庁 生涯学習課 学校教育グル ープ 総合支所 教育振興室	1850-00	魅力ある教育 推進事業	学ぶ意欲を高める 魅力ある学校づくりを 推進する	3,135	4,539	1,404	鶴川中学校と鶴川高等学校との連携型中高一貫教育は、生徒の興味関心などに応じた多様な学習形態が定着し、特色ある教育活動が展開されている。今後も一層の振興と教育内容の充実に向けた支援が求められる。 鶴川中学校はスクールカウンセラー（道費負担）、穂別中学校は心の相談員を配置しているが、児童生徒をとりまく環境等の変化から、穂別中学校へもスクールカウンセラーの配置を求めていく必要がある。	B維持	

平成29年度 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価一覧

No.	区分 担当	事業番号	事業名	事業の目的	前年度 決算額	当該年度 決算額	比較	点検評価のコメント	今後の 方向性	その他特記事項
6	総合支所 教育振興室	1855-00	山村留学支援 事業	富内小学校への山 村留学生を迎え入れ るため、必要な支援を 行う	1,280	1,220	△ 60	富内小学校の特色ある学校教育の推進、学校運営に効果があり、地域の活性化 の両面からも本制度により留学児童が定着したことは、当初の目的に達せられたと 評価される。 しかしながら、地元の児童が激減し今後も入学する児童が見込めなくなったことか ら、富内小学校の再編について保護者や地域との協議の結果、平成30年3月末で の穂別小学校への再編することとなった。富内小学校は閉校となるが、児童家族 は引き続き富内に居住し穂別小学校(6年生)へ通学することから30年度は経過措 置とし1年間事業継続するものである。	C見直	
7	本 庁 生涯学習課 学校教育グ ループ	1856-00	鈴木章記念事 業	ノーベル化学賞を 受賞した鈴木章特別 名誉町民の功績を記 念し、町内の児童及 び生徒の学習意欲を 増進する事業を推進 する	8,601	4,110	△ 4,491	鈴木章先生の功績を記念して実施した事業である。特に中高生海外派遣事業 は、予算の範囲内で多くの中高生が参加できるよう基金の充実が必要である。一 方、教育振興に寄与する事業に関して、対象が小学生1年生から高校3年生までと 幅広く、事業の内容及び質が問われる。大学等進学奨励事業は、町内の高校に 通う町内在住の生徒を対象とした事業となっているが、高校振興対策としての側面 が大きく、本年の鈴木章記念事業の目的に即した事業となるよう見直しが必要で ある。	B維持	
8	本 庁 生涯学習課 学校教育グ ループ	1860-00	児童生徒保健 対策等事務	就学前児童及び児 童生徒の健康保持の ため学校保健の充実 を図る	1,468	1,437	△ 31	学校保健安全法の定めにより、学校医、学校歯科医、学校薬剤師を委嘱し、健 康診断を定期的実施するとともに、感染症の予防や感染症による学級閉鎖への 助言をなど、学校教育の円滑な実施を図っている。また、就学前の児童の健康診 断を行い、結果に基づき、必要に応じて保護者に治療を勧告するなど就学に備え ている。 学校環境衛生検査は、学校環境衛生の基準に基づき換気、保湿、採光、照明、 騒音等の学校環境の検査を行い、児童生徒等の健康増進を図っている。定期的 に実施していく必要がある。	B維持	
9	本 庁 生涯学習課 学校教育グ ループ 総合支所 教育振興室	1880-00	教職員住宅等 維持管理事務	むかわ町立学校に 勤務する教職員の住 宅の維持管理	1,620	4,532	2,912	穂別地区では、学校の統廃合等により空き住宅が増えてきているため、可能なも のについては普通財産に所管換えし、有効活用を図ることが望ましいと考える。ま た、居住している住宅については、今後も適切な維持管理に努めると共に、老朽 化している住宅については、建て替え計画の策定が必要である。	B維持	
10	本 庁 生涯学習課 学校教育グ ループ	1900-00	教職員住宅建 設割賦償還金	教職員住宅の整備 に係る償還金及び負 担金	5,248	5,185	△ 63	教職員を確保し、またその能力を発揮する上で住環境の整備は必要なことから、 計画的な教職員住宅の整備を進める必要がある。(H29年度で償還期返済終了)	E終了	

平成29年度 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価一覧

No.	区分 担当	事業番号	事業名	事業の目的	前年度 決算額	当該年度 決算額	比較	点検評価のコメント	今後の 方向性	その他特記事項
11	本庁 生涯学習課 学校教育グループ 総合支所 教育振興室	1910-00	教育団体活動 等事業助成事業	就学前教育の奨励、教育活動を補完する団体への活動を支援し、教職員の資質の向上と教育環境整備を図る	6,784	6,006	△ 778	町内に住所を有する3歳児、4歳児、5歳児の保護者に対して入園料及び保育料を減免している私立幼稚園に補助金を交付することにより、就学前教育の奨励に努めた。 学校教育では、教員の指導力や人間性が子どもに与える影響は極めて大きいことから、引き続き町教育振興会などへの支援を行い、研修意欲と実践的力量的の向上を図る必要がある。 総合学習推進交付金については、教育委員会予算や教育振興会補助金と精査し、制度の内容及び交付方法等について見直す必要がある。		
12	本庁 生涯学習課 学校教育グループ 総合支所 教育振興室	1920-00	英語指導助手 配置事業	小・中学校における英語活動並びに国際理解教育の充実を図るため、小・中学校へ外国語(英語)指導助手を派遣する	10,105	10,290	185	国際化の一層の進展が予想され、英語によるコミュニケーション能力や国際理解の基礎を児童生徒に身に付けさせることは重要な課題であり、小学校における英語を中心とした外国語活動が平成22年度から始まり、平成32年度には教科化が予定され本事業はますます必要である。		
13	本庁 生涯学習課 学校教育グループ 総合支所 教育振興室	1930-00	通学バス運行 事業	町内統合校などの児童生徒の通学負担を軽減するため通学バスを運行するとともに、学校行事等を円滑に行うため多目的バスを運行する	42,930	52,280	9,350	学校の統廃合により、または従来から遠隔地からの通学者が多いため、通学バスは必要であるが、児童生徒数の推移により路線等の見直しは随時必要である。 校外学習等に要する貸し切りバスや多目的バスの運行は教育課程の一環であることから、実施に当たっての工夫は必要であるものの今後とも不可欠の事業である。	B維持	
14	本庁 生涯学習課 学校教育グループ 総合支所 教育振興室	1950-00	小学校運営事務	小学校運営全般に係る諸経費、教育環境の整備	46,734	45,177	△ 1,557	学校現場の実情に合わせ迅速な予算執行を可能とする学校配当予算と、経済的かつ効率的な業務実施のため教育委員会で直接執行する管理運営事務の組み合わせで構成されている。快適な教育環境を提供していく必要があり、今後も適正な執行管理に努める必要がある。 特別支援教育を必要とする児童が増えつつあり、特別支援教育の充実のため、学習支援員や介助員の配置を行い、教育内容の充実に努める必要がある。	B維持	
15	本庁 生涯学習課 学校教育グループ 総合支所 教育振興室	1960-00	小学校施設管理 事務	学校施設、設備の維持管理を行い、教育環境の維持及び義務教育の円滑な運営と児童の安全性の確保を図る	21,551	21,600	49	学校施設、設備は一部の学校において老朽化が進んでいるため、より効率的・効果的な改善が必要である。 学校施設、設備の管理については、今後とも定期的な点検を行い、安全管理の徹底を図っていく。	B維持	

平成29年度 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価一覧

No.	区分 担当	事業番号	事業名	事業の目的	前年度 決算額	当該年度 決算額	比較	点検評価のコメント	今後の 方向性	その他特記事項
16	本 庁 生涯学習課 学校教育グループ 総合支所 教育振興室	1970-00	小学校施設整備事業	学校施設、設備の整備を行い、教育環境の改善及び義務教育の円滑な運営と児童の安全性の確保を図る	2,795	2,257	△ 538	学校施設、設備は一部の学校において老朽化が進んでいるため、緊急性や必要性を検討し、計画的な整備・改修を推進していく必要がある。 コピー機、印刷機はリース契約期間が満了後、機器の状態に応じ、低価格で延長再契約を結び、経費の節減に努めている。	B維持	
17	本 庁 生涯学習課 学校教育グループ 総合支所 教育振興室	1980-00	小学校保健・安全対策事務	児童の安全確保と、健康の保持増進を図り、学校教育の円滑な実施を図る	2,494	2,326	△ 168	児童の通学時安全確保は各学校で整備している危機管理マニュアルの徹底とともに、新入学児童の防犯ブザー携帯は有効である。 学校保健安全法の定めにより、学校教育の円滑な実施を図っている。	B維持	
18	本 庁 生涯学習課 学校教育グループ 総合支所 教育振興室	1990-00	小学校就学援助事業	経済的理由によって就学困難な児童の保護者及び特別支援学級に就学する児童の保護者に対して学用品等を援助することにより、義務教育の円滑な実施を図る	1,342	4,051	2,709	低所得世帯等に学用品等を援助することにより、義務教育の円滑な実施に資することができた。 今後も、制度の周知を徹底し、対象者の把握に努める必要がある。	B維持	
19	本 庁 生涯学習課 学校教育グループ 総合支所 教育振興室	2000-00	小学校教材備品等整備事業	小学校教材備品等を整備し、義務教育の円滑な実施を図る	4,057	3,313	△ 744	教科用品等の消耗品や教材備品、学習用図書等の購入は新学習指導要領に基づいた教育活動を実施する上で、必要不可欠であり重点整備に努めた。 今後も、各学校で必要としている教材備品等について、計画的に整備する必要がある。	B維持	
20	本 庁 生涯学習課 学校教育グループ 総合支所 教育振興室	2010-00	小学校情報教育推進事業	高度情報化社会の進展に対応する人材を育成するため、児童に対する情報教育の充実を図るとともに、教職員用コンピュータを整備することにより学校事務の効率化を図る	6,468	11,582	5,114	児童に対する情報教育の充実並びに学校事務の効率化を図るうえでも不可欠な設備整備である。 今後、年数が経過したコンピュータ機器を計画的に更新していくことが必要である。	A拡大	

平成29年度 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価一覧

No.	区分 担当	事業番号	事業名	事業の目的	前年度 決算額	当該年度 決算額	比較	点検評価のコメント	今後の 方向性	その他特記事項
21	本 庁 生涯学習課 学校教育グ ループ 総合支所 教育振興室	2015-00	小学校建設事 業	学校施設・設備整備 等により、教育環境の 改善及び義務教育の 円滑な運営と生徒の 安全性の確保を図 る。 また、子ども たちに「食の正しい知 識と望ましい食習慣」 を身に付けさせること を目的に学校給食の	1,612,217	50,206	△ 1,562,011	学校教育において校舎をはじめ施設整備の果たす役割は、教育効果を左右する重要な要件となっている。 老朽化が著しい鶴川中央小学校の改築及び新設の両地区学校給食施設は、平成27年度にⅠ期工事、28年度にⅡ期工事を実施し建築工事が完成した。外構工事については、舗装工事が冬季間となるため、平成29年度へ一部繰越し工事を実施した。 また、給食配送車については、平成28年度の年度内に納車が間に合わないため、平成29年度へ繰越しとし購入したものである。	E終了	H27～H28年度 鶴川中央小学校 改築 学校給食センター 鶴川地区・穂別地 区新築
22	本 庁 生涯学習課 学校教育グ ループ 総合支所 教育振興室	2020-00	中学校運営事 務	中学校運営全般に 係る諸経費、教育環 境の整備	18,090	18,693	603	学校現場の実情に合わせ迅速な予算執行を可能とする学校配当予算と、経済的かつ効率的な業務実施のため教育委員会で直接執行する管理運営事務の組み合わせで構成されている。快適な教育環境を提供していく必要があり、今後も適正な執行管理に努める必要がある。	B維持	
23	本 庁 生涯学習課 学校教育グ ループ 総合支所 教育振興室	2030-00	中学校施設管 理事務	学校施設、設備の 維持管理を行い、教 育環境の維持及び義 務教育の円滑な運営 と生徒の安全性の確 保を図る	8,956	8,060	△ 896	学校施設、設備の管理については、今後とも定期的な点検を行い、安全管理の徹底を図っていく。	B維持	
24	本 庁 生涯学習課 学校教育グ ループ 総合支所 教育振興室	2040-00	中学校施設整 備事業	学校施設、設備の 整備を行い、教育環 境の改善及び義務教 育の円滑な運営と生 徒の安全性の確保を 図る	19,837	1,985	△ 17,852	学校施設、設備は一部の学校において老朽化が進んでいるため、緊急性や必要性を検討し、計画的な整備・改修を推進していく必要がある。 コピー機、印刷機はリース契約期間が満了後、機器の状態に応じ、低価格で延長再契約を結び、経費の節減に努めている。	B維持	
25	本 庁 生涯学習課 学校教育グ ループ 総合支所 教育振興室	2060-00	中学校保健・安 全対策事務	生徒の安全確保と、 健康の保持増進を図 り、学校教育の円滑な 実施を図る	1,056	1,091	35	生徒の通学時安全確保は各学校で整備している危機管理マニュアルの徹底とともに、女子生徒の防犯ブザー携帯は有効である。 学校保健安全法の定めにより、学校教育の円滑な実施を図っている。	B維持	

平成29年度 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価一覧

No.	区分 担当	事業番号	事業名	事業の目的	前年度 決算額	当該年度 決算額	比較	点検評価のコメント	今後の 方向性	その他特記事項
26	本 庁 生涯学習課 学校教育グ ループ 総合支所 教育振興室	2070-00	中学校教材備 品等整備事業	中学校教材備品等 を整備し、義務教育 の円滑な実施を図る	6,305	3,772	△ 2,533	教科用品等の消耗品や教材備品、学習用図書等の購入は新学習指導要領に 基づいた教育活動を実施する上で、必要不可欠であり、重点整備に努めた。 今後も、各学校で必要としている教材備品等について、計画的に整備する必要 がある。	B維持	
27	本 庁 生涯学習課 学校教育グ ループ 総合支所 教育振興室	2080-00	中学校就学援 助事業	経済的理由によって 就学困難な生徒の保 護者、特別支援学級 に就学する生徒の保 護者に対して学用品 等を援助することによ り、義務教育の円滑な 実施を図る	1,795	3,884	2,089	低所得世帯等に学用品等を援助することにより、義務教育の円滑な実施に資す ることができた。また、今年度からは新入学生徒品費について、入学前支給を実施 し、子育て支援及び保護者の負担軽減を図ることができた。 今後も、制度の周知を徹底し、対象者の把握に努める必要がある。	B維持	
28	本 庁 生涯学習課 学校教育グ ループ 総合支所 教育振興室	2090-00	中学校情報教 育推進事業	高度情報化社会の 進展に対応する人材 を育成するため、生 徒に対する情報教育 の充実を図るととも に、教職員用コン ピュータを整備するこ とにより学校事務の効 率化を図る	9,414	9,442	28	生徒に対する情報教育の充実、並びに学校事務の効率化を図るうえでも不可欠 な設備整備である。 今後、年数が経過したコンピュータ機器を計画的に更新していくことが必要であ る。	A拡大	
29	本 庁 生涯学習課 社会教育グ ループ	2120-00	社会教育委員 活動運営事務	教育委員会が行う 社会教育計画の立案 や社会教育事業に関 し助言するための社 会教育委員の活動経 費	144	394	250	社会教育委員の役割は、住民ニーズの多様化する中で行革効果を求められる 厳しい時代にあって、進むべき各種方策の方向性を定めていく役割があり、合併 時に策定された教育目標に基づく社会教育振興計画の策定を行うなど成果を示 している。	B維持	
30	本 庁 生涯学習課 社会教育グ ループ 総合支所 教育振興室	2130-00	社会教育推進 事務	社会教育行政を推 進するための一般事 務経費	381	430	49	社会教育事業等を推進するため、各種研修機会への派遣や事業打ち合わせ・ 情報交換を行うために職員を派遣している。	B維持	

平成29年度 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価一覧

No.	区分 担当	事業番号	事業名	事業の目的	前年度 決算額	当該年度 決算額	比較	点検評価のコメント	今後の 方向性	その他特記事項
31	本 庁 生涯学習課 社会教育グループ 総合支所 教育振興室	2140-00	社会教育団体 等活動費助成 事業	社会教育関係団体 に財政支援を行い、 活発な活動を促す	3,103	3,089	△ 14	社会教育団体の自主的活動を支援することで、文化・レク活動が有意に展開されてきている。合併後各団体が統合してきたが、順調な運営をするために今後も支援が必要である。	B維持	
32	本 庁 生涯学習課 社会教育グループ	2150-00	生涯学習基金 活用事業	文化、スポーツ及び 社会活動など生涯学 習意欲に応える費用 に充てるために設置 された「むかわ町生涯 学習推進基金」の有 効な活用を図る	1,121	1,579	458	町民が日常の活動成果として、地域を代表して各種大会に出場する場合に派遣事業としてかかる経費(交通費、宿泊料等)の負担軽減を図ることにより、町外での活躍の場を確保し、練習成果の発揮とより高度なレベルの体験、交流が促進され、競技や文化のスキル・精神力アップに有効である。 その他各種研修、人材養成、交流の場へ派遣することにより、幅広い視野で活躍できる人材を養成することとなり、まちづくりの推進に顕著な効果が期待される。本町で開催する事業等に助成することにより、普段なかなか触れる機会の少ない、文化・スポーツ事業を身近に鑑賞できる機会の確保につながり、地域全体の文化レベルの向上につながる展開が期待できる。	B維持	
33	本 庁 生涯学習課 社会教育グループ	2170-00	公民館活動一 般事務	生涯学習推進アド バイザーを置き、生涯 学習の推進を図る いじめ等の相談活 動により児童生徒の 健全育成を図る	1,918	49	△ 1,869	教育一般に関し、豊かな識見を有し、且つ、生涯学習に関する指導技術を必要とする事務事業であり、生涯学習アドバイザーの配置は必要であるが、H29年度は、採用の応募がなく、配置することができなかった。 今後の社会教委事業の推進に、必要なことから、生涯学習アドバイザーを配置していく。	B維持	
34	本 庁 生涯学習課 社会教育グループ 総合支所 教育振興室	2180-00	公民館事業	生涯各期の課題に 即した生涯学習の機 会の提供を行うととも に、学習成果の還元 を推進する。また、子 どもたちの体験活動 等を行い健全な育成 を図る	3,700	2,274	△ 1,426	公民館事業について、事業の実施毎に評価(①前回の実施に対する課題の整理 ②住民のニーズ点検 ③今後の動向を踏まえての必要性)を実施している。これらを分析して、事業の優先度を位置づけし、今後の方向を検討している。 広範多岐にわたるため事業の数が多く、組合せなど工夫も必要。	B維持	
35	本 庁 生涯学習課 社会教育グループ 総合支所 徳別図書館	2200-01 2200-02	図書館等管理 運営事務	町民の教育と文化 の向上を図るため設 置されている図書館 (図書室)の管理運営	7,023	7,056	33	図書館は、町民への情報提供手段として重要な役割を果たしてきている。今後さらなる町民の学習要求に応えるため、蔵書の拡大と移動図書館の整備などが必要である。合併によりサービス対象人口が拡大したこともあり、図書館の情報提供機能を強化し、町民の学習活動への支援と、地域の活性化に向けたサービスの展開が求められる。	A拡大	図書館ネットワー ク化

平成29年度 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価一覧

No.	区分担当	事業番号	事業名	事業の目的	前年度決算額	当該年度決算額	比較	点検評価のコメント	今後の方向性	その他特記事項
36	本庁 生涯学習課 社会教育グループ	2210-00	生涯学習センター管理運営事務	町民の学習機会の充実と文化及びスポーツ活動の場の提供並びに町外の住民との交流の場として設置されている生涯学習センター(報徳館)の管理運営	1,740	463	△ 1,277	文化・スポーツ関係の合宿施設として利用されている。平時は無人であるが、使用時には管理人の常駐・清掃を委託している。 合宿誘致に向けた施設整備について、どこまで進めるべきか課題となっている。	B維持	
37	本庁 生涯学習課 社会教育グループ 総合支所 01に統合	2220-00	文化財等保護事業	町の重要な文化財等の保存及び活用のため必要な措置を講じ、町民文化の継承と向上を図る	3,530	3,530	0	適正な文化財保護・保存に努めている。平成29年度は、穂別博物館所蔵化石7点につき、むかわ町指定文化財に新規登録。町指定文化財第3号ホベツアラキリュウ化石骨が、町指定から北海道指定天然記念物に変更。郷土資料展示・普及に向けた文化財と一般町民とのふれあいの機会・場の創出が課題。	A拡大	
38	本庁 生涯学習課 社会教育グループ	2230-00	学習交流センター管理運営事務	学習機会の拡充と生活文化の向上を目的として広く地域住民の文化活動の促進に寄与するため設置した学習交流センター「まなぶ館」の維持管理を行う	1,389	3,395	2,006	学習機会の拡充や生活文化の向上に寄与している。 老朽化した食品加工室設備の更新を行った。	B維持	
39	本庁 生涯学習課 社会教育グループ 総合支所 教育振興室	2240-00	青少年健全育成等推進事業	次代を担う青少年の健全育成、指導、保護を行うため、家庭・学校・地域社会や関係機関との連携強化に努めながら各種事業を進める	1,926	1,867	△ 59	青少年健全育成委員会では青少年教育についての方策などについて議論・提言頂いている。 少年の主張大会は、主催(教育委員会)、実施主体(運営委員会)と役割分担する中で実施している。 読書感想文コンクールについては、青少年健全育成委員会が主体となり実施。 四季の館いこいの広場にて、表彰式を実施した。実行委員会で行っている通学合宿についても、地域のボランティアの協力を得ながら成果を上げている。	B維持	
40	本庁 生涯学習課 社会教育グループ	2250-00	鶴川高等学校生徒寮管理運営事業	鶴川高等学校に在籍する生徒及びスポーツ等で合宿する青少年等に寄宿の便を与え、もって学力の向上、健康の保持増進及び青少年の健全な育成に寄与するために設置した生徒寮の管理運営	12,730	13,426	696	寮生は全員野球部に所属しており、鶴川高等学校の存続及び硬式野球部の活躍に大きく寄与しており、これまで3回甲子園に出場するなど町の自慢として事業の継続が必要である。	B維持	

平成29年度 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価一覧

No.	区分 担当	事業番号	事業名	事業の目的	前年度 決算額	当該年度 決算額	比較	点検評価のコメント	今後の 方向性	その他特記事項
41	総合支所 教育振興室	2260-00	穂星寮管理運営事務	就学のために来町する青少年に寄宿の便を与え、もって学力の向上、健康の増進及び子弟の育成に寄与するため設置された穂星寮の管理運営	30,173	30,947	774	寮生は、親元から離れ生活、学習環境を変え、寮の現管理体制の中で有意義な寮生活を送っている。寮生が穂別高校全生徒数の約半数を占めており、穂別高校の存続にも寄与している。今後もこの事業の継続が必要である。	B維持	
43	総合支所 穂別博物館	2270-00	博物館管理運営事務	自然及び人文に関する科学について、資料を収集し、保管し、展示するとともに、その調査研究及び普及指導を行い、町民の教養、文化の向上に寄与する	36,787	40,568	3,781	活動の中心である自然史系資料(化石・地質)を重点的に収集し、外部研究者の協力も得ながら研究を進めた。 穂別産恐竜化石「むかわ竜」について、収集した化石のクリーニング作業を進め29年度でほぼ終了した。6月にはむかわ竜の一般公開を実施した。H29～H30年度事業としてレプリカ製作を開始する。 GWや夏休みに恐竜デー(来館者向けの体験事業)や普及講演会、恐竜化石の発掘現場での発掘体験を実施し、町内外から多数参加があった。 町内学校には、当地域及び当館の特色を活かして学習支援に努め、小中高一貫ふるさとキャリア教育にも支援した。 広報紙ホッピーだよりを毎月発行し、町のHPや町民ポータルサイトPOMUの情報も随時更新した。また、化石の研究に関する会見を2回開き、研究成果を公表した。 収蔵化石7点を町指定文化財へ登録し、1点(ホベツアラキリュウ)が北海道天然記念物に指定された。	A拡大	
44	本庁 生涯学習課 社会教育グループ	2290-00	スポーツ推進委員活動運営事務	スポーツ・レクリエーションの普及及び振興	696	562	△ 134	スポーツ振興法からスポーツ基本法への50年ぶりの法改正が行われ、H24からスポーツ推進委員に衣替えが行われた。 子どもの体力向上や高齢化における健康社会の実現に向けて、「スポーツ推進委員」の役割は、一層重要になる。 総合型地域スポーツクラブへの継続支援と地域の拡大(育成)、生涯スポーツのメニュー作成、関係機関・団体等との連携など多岐にわたり任務と力量が必要とされており、積極的に研修会等に参加し指導者としての豊富な知識を得ているが、具体的な企画・調整までには至っていない。本年度から具体的な活動として、町内のスポーツ団体等の実態調査活動を行っている。	B維持	
45	本庁 生涯学習課 社会教育グループ 教育振興室	2300-00	町民体力づくり事業	町民の健康や体力の増進を基本としたスポーツの普及啓発などスポーツの振興を図る	947	4,540	3,593	町民向けの事業の実施により、町民の運動スポーツの機会を提供している。 法人化した総合型地域スポーツクラブに助成することにより、法人の基盤を固めるほか、新規のスポーツ活動も広がってきている。また、各種事業の実施形態もスポーツクラブへの委託等、見直しも進める必要がある。	B維持	
46	本庁 生涯学習課 社会教育グループ	2310-00	スポーツ団体等活動費助成事業	スポーツ団体等の支援をすることにより、町民の交流と連帯を養い且つ、スポーツへの参加意欲を高め、心身の健全な発展と明るく豊かな地域づくりに資する	1,751	1,854	103	社会体育関係団体に補助金等を交付することにより、団体の財政面を支援し、町民主体によるスポーツ活動の奨励を行った。各団体において更に多くの事業を展開してもらうように助言や支援を行う必要がある。 体育協会については、各単位団体の支援について、見直しが必要と思われる。「スポーツ振興事業」は町が委託(支援)する事業として、主体的に(自立)実施するまでにはやや暫く支援が必要と思われる。 胆振スポーツフェスタについては、H29年度をもって、事業終了となった。	B維持	

平成29年度 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価一覧

No.	区分 担当	事業番号	事業名	事業の目的	前年度 決算額	当該年度 決算額	比較	点検評価のコメント	今後の 方向性	その他特記事項
47	本 庁 生涯学習課 社会教育グループ	2360-00	鶴川体育館管理運営事務	町民の心身の健全な育成と健康の保持、増進を図り、広く生活文化の向上に寄与するために設置されている鶴川町民体育館の管理運営を行う	10,060	16,287	6,227	町民体育館利用調整(夏季・冬期)により使用者団体の調整を行い、公平・効率的な利用に努めている。(補完施設として、中央小学校、宮戸小学校、鶴川中学校及び報徳館の屋内運動場を指定) 施設が老朽化しており、計画的な補修事業が必要である。特に、H29年度屋根雨漏り補修工事を実施したが、部分補修であったため、別な箇所からの雨漏りも発生している。	B維持	
48	総合支所 教育振興室	2370	穂別スポーツセンター管理運営事務	町民の心身の健全な育成と健康の保持、増進を図り、広く生活文化の向上に寄与するために設置されている穂別スポーツセンターの管理運営	17,489	15,340	△ 2,149	穂別地区の体育振興の中心施設として、各種スポーツ大会にも多数利用され、地域住民の交流の場ともなってきた。ただし、開設(昭和54年)から35年以上が経過しており、経年による劣化や損傷も散見され、抜本的な改修には多大な経費を必要とする。平成25年度には耐震改修工事を実施している。一方、利用者は減少傾向にあり、学校開放等他施設を利用することで、現状のスポーツセンターの利用者を吸収できないか、関連する体育館施設等の活用や改修も視野に入れたスポーツセンターのあり方について検討する段階にあるものと考えられる。	B維持	
49	本 庁 生涯学習課 社会教育グループ	2380-00	田浦野球場管理運営事務	町民の心身の健全なる育成と健康の保持増進を図り、スポーツ文化の向上に寄与するために設置されている田浦野球場・田浦第2野球場の管理運営を行う	6,561	5,474	△ 1,087	鶴川高校野球部をはじめ町内外の野球愛好団体等に広く活用されている。 今後も施設の適切な維持管理に努めていく必要がある。	B維持	
50	総合支所 教育振興室	2390-00	穂別野球場管理運営事務	町民の心身の健全なる育成と健康の保持増進を図り、スポーツ文化の向上に寄与するために設置されている穂別野球場の管理運営	177	130	△ 47	野球チームが少なく利用者も減少傾向だが、野球少年団、中学校野球部、社会人チーム等が利用しており、不定期ではあるが野球大会にも利用されている。穂別地区における唯一の野球場として今後また、冬季は歩くスキーコースの練習場としても活用されている。	B維持	

平成29年度 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価一覧

No.	区分 担当	事業番号	事業名	事業の目的	前年度 決算額	当該年度 決算額	比較	点検評価のコメント	今後の 方向性	その他特記事項
51	本 庁 生涯学習課 社会教育グ ループ	2400-00	ゲートボール場 管理運営事務	町民の心身の健全 なる育成と健康の保 持増進及び軽スポー ツ交流を通して町民 のふれあいの場として 設置されているゲート ボール場の管理運営 を行う	4,434	4,965	531	ゲートボール愛好団体やパークゴルフ、ペタンク愛好団体のほか、野球などのトレー ニングにも有効に活用されている。 今後も、適切な維持管理を行っていく必要がある。	B維持	
52	本 庁 生涯学習課 社会教育グ ループ	2410-00	鶴川スケートセ ンター管理運営 事務	町民の心身の健全 なる育成と健康の保 持及び体育・スポーツ 活動の普及・振興を 図るために設置され た鶴川スケートセン ターの管理運営	28,730	6,222	△ 22,508	冬のスポーツ施設として少年団活動や学校体育授業等に有効に活用されるとと もに、夏季には、インラインスケートの使用を可能とした施設であり、日本代表とし て国際大会に出場する選手などの強化練習施設としても活用されている。 なお、スケートリンクの管理に関しては、今後も永続的な管理が図られるよう見直 しを検討する必要がある。	B維持	
53	総合支所 教育振興室	2420-00	穂別スケートリ ンク管理運営事 務	町民の心身の健全 なる育成と健康の保 持及び体育・スポーツ 活動の普及・振興を 図るために設置され た穂別スケートリンク の管理運営	2,433	2,482	49	現在は、小学校体育授業、少年団の冬季活動のほか、冬期間の子どもたちの運 動の場、放課後・休日の遊び場として利用されている。平成29年度もスケート協会 によるスケート教室・町民スケートまつりを開催し氷上レクリエーションなどに取り組ん でおり、盛時と比べて総体的な利用者数は少ないものの、貸しスケート等を利用して 気軽に利用する家族等もあり、減少には歯止めがかかっている。 ただし、全体の利用者数は決して多くなく、今後もいつまで施設を維持するの かが課題である。底面のコンクリートの剥離も進んでおり、廃止についても検討する 段階にある。	B維持	
54	本 庁 生涯学習課 社会教育グ ループ	2430-00	鶴川地区パー クゴルフ場管理 運営事務	町民及び来町者の 心身の健全な発達及 び体育、スポーツ活 動の普及・振興を図 るために設置された鶴 川運動公園パークゴ ルフ場及びししやも パークゴルフ場の管 理運営を行う	5,403	5,375	△ 28	中高齢者のスポーツとして定着し、利用率も高い。芝生の管理等適切に行いな がら利用者の要望に対応する必要がある。	B維持	
55	総合支所 教育振興室	2440-00	穂別地区パー クゴルフ場管理 運営事務	町民及び来町者の 心身の健全な発達及 び体育、スポーツ活 動の普及・振興を図 るために設置された穂 別地区パークゴルフ 場の管理運営	6,817	7,629	812	高齢者の健康維持と会社や自治会等団体の親睦交流スポーツに多く利用されて いる。最近では、若年層・町外者の利用が少なく利用者減少傾向にある。今後も適 切な施設維持と快適に利用してもらう観点から、業務委託内容(管理体制など)を 改善しながら運営していく。	B維持	

平成29年度 教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価一覧

No.	区分 担当	事業番号	事業名	事業の目的	前年度 決算額	当該年度 決算額	比較	点検評価のコメント	今後の 方向性	その他特記事項
56	総合支所 教育振興室	2450-00	スキー場管理 運営事務	町民の冬季スポーツの振興及び保健体育の普及向上を図るために設置されている穂別スキー場の管理運営	2,417	1,930	△ 487	小学生では少年団活動が多く利用し、中・高生ではスノーボード利用も多い。成人層は減少傾向。天候などにより利用の増減はあるが、町内唯一のスキー場として維持する。近年では施設の老朽化が目立つことから、順次必要な修繕を行いながら、長期的に使用できるよう維持管理していく。	B維持	
57	総合支所 教育振興室	2460-00	水泳プール管理 運営事務	町民の健康増進と体位の向上を図るために設置された穂別水泳プールの管理運営	12,495	4,938	△ 7,557	穂別地区の唯一の水泳施設である。一般利用のほか、小中学校体育授業、放課後児童の遊び場等に利用されている。平成22年度にはプール槽及び鉄骨塗装の改修を行い施設の延命を図っている。夏期のみ開設であるものの、唯一のプールとして町民の需要はきわめて高い。屋根シートの劣化や機械設備の定期的な点検等を行いながら今後も大切に施設を維持していくことが求められる。	B維持	
58	本 庁 生涯学習課 社会教育グループ	2475-00	鶴川テニスコート 管理運営事務	町民の心身の健全な発達と体育・スポーツ活動の普及、振興を図るために設置されている鶴川テニスコートの管理運営	75	95	20	鶴川中学校改築に伴い、同校敷地内へ移設を行った。テニス団体や愛好者において有効に活用されている。今後も適切な維持管理を行っていく必要がある。	B維持	
59	総合支所 教育振興室	2480-00	穂別テニスコート 管理運営事務	町民の心身の健全な発達と体育・スポーツ活動の普及、振興を図るために設置されている穂別テニスコートの管理運営	591	591	0	テニス愛好者の減少により利用者が少ない。穂別地区唯一のテニスコートとして小規模な修繕を行いながら継続運営していくこととしている。また、貸し出し用ラケットの配置等の利用しやすい環境を整備する。	B維持	
60	本 庁 生涯学習課 学校教育グループ 教育振興室	2480-00	学校給食施設 管理事務	学校給食センター施設及び設備の維持管理を行い、学校給食の普及充実及び学校における食育の推進を図ることを目的とする。		113,839	113,839	児童生徒の心身の健全な発達に資するためにも、安心安全で美味しい給食を安定的に供給することが必要である。また、給食を生きた教材として活用し、食育の推進を図っていくことが必要である。	B維持	